

第2回 網野まちなか再生・活性化協議会

事務局からの説明

前回の振り返り / キーコンセプトの方向性 / 利用シーンの検討

資料3





本日の流れ



前回の振り返り

第1回で出た意見を振り返ります



キーコンセプトの検討

グループワーク・全体意見交換をとおして、**暫定の方向性を固めます**



利用シーンの検討

跡地がどんな場所になることを目指すのか**具体的な使われ方**を考えます

自然・景観（23件）

▶ 海・浜辺（13件）

砂浜／海・海岸／漁港／
浅茂川・浜詰／
夕陽が海へ沈む・朝陽

▶ 山・高台（3件）

山／高天山／海と山がある

▶ 自然全般・星空・景色（4件）

自然／景色／星がキレイ

▶ 象徴的スポット（3件）

公園と海が両方は網野だけ／
琴引浜／子午線が通る町

商業・食

▶ 商店・産業

個人商店が多い／宿／
織物工場・織物

▶ 食・グルメ

果実（メロン・スイカ）／
海鮮／おいしい食べ物が多い
／釣り

生活・利便性

▶ 施設

図書館が大きい／サッカー場

▶ 暮らしのゆとり

時間が余る／子どもがのびの
び／スポーツ環境が良い
人が少ない・ゆっくり

▶ その他

密集した家々／塩江・三津の
小さな漁村

歴史・文化

▶ 祭り・伝統行事

祭りがある・熱い／和太鼓
昔の行事の伝承／長い歴史

▶ 史跡

網野神社・銚子山古墳

▶ 産業の歴史・芸能

野村克也
オリンピック選手が多い

コミュニティ・交流（5件）

▶ 人柄

馴染みやすい人間
美人が多い

▶ お店との関係性

学校近くにコンビニ
人に会いに行きたくなる店

スポーツ・アウトドア

- スポーツ（草野球・ゴルフ）
- バイクツーリング
- 八丁浜ウォーキング
（散歩・ランニング）
- 海・魚釣り

文化

- 伝統文化
- 歴史
- 水無月祭
- 音楽イベント

食

- 食について

学び・地域活動

- 地域づくり
- 学び合い向上
- 子供達の可能性
- ゴミの資源化日本一（上勝町参考）

防災・安全

- 災害対策

暮らし

- ゆっくりのんびりできる場所
- 外国人が多い
- 犬（散歩）

RECAP / 前回の振り返り③

本プロジェクトで対応できそうな課題

◎ 本事業で単独対応可

△ 他と連携が必要

課題の分類

①人口減少・少子高齢化

地域の社会活動衰退 / 人口減少 /
少子高齢化（子どもが都会に行く、婚活が難しい）

②産業の衰退

機屋の元気が弱くなっている / 後継者育成 / 工業団地
がない インバウンド不足 / 地場産業の衰退 / 若者が
定着しない

③賑わいの不足

冬のイベントがない / 大きなイベントがなくなった
土日町中に人がいない / 町中の賑わいがない /
商店街の賑わい不足 / 飲食店が少ない / 活気がない

④空き家問題

空き家対策

⑤地域特性

地域の役が多すぎる / 細い道での路駐 / 道が悪い
磯から浜詰・塩江線の整備 / 駐車場問題 / 駅が遠い
／温泉

対応策（ハード／ソフト）

ハード

ソフト

子供手当増 / 定住・移住促進 / 子育て支援 / 有名人に住んでもらう

ハード

ソフト

仕事の創出 / 企業誘致 / 儲かる一次産業 / Uターン支援

ハード

ソフト

ハード

ソフト

ハード

ソフト

国府への要望

対応できそうなこと（ハード／ソフト）

ハード

◎：居住スペース住宅

△：託老所＋託児所

ソフト

◎：親も楽しめる／若い世代交流＋多世代／子育て世代への魅力発信

ハード

◎：コワーキングスペース／チャレンジショップ / アンテナショップ

ソフト

◎：高齢者が魅力を発信

△：教育意識・強化

ハード

◎：人が集まって飲食できる場 / 若者が集まる場
老人が立ち寄る場

ソフト

◎：レンタル自転車

△：観光業への仕掛け / 地味だが世界大会のスポーツ誘致

ハード

ソフト

◎：空き家等に移住者を呼び込む

ハード

◎：駐車場確保

ソフト

RECAP / 前回の振り返り③

本プロジェクトで対応できそうな課題

◎ 単独対応可

△ 連携が必要

課題の分類
⑥環境・災害対策
雨の日は遊ぶ場所がない / 雪がよく積もる / 高潮で浸水する場所がある / 異常気象 /
⑦活動の場・施設の不足
テニスコート等が水につかる / 学生が行ける場所が少ない / 図書館の利用時間が短い / 異年齢活動が少ない / 学びの場がない / 個人の魅力を発揮できる場がない / スポーツ体育館 / 運動不足（車移動） / ラーメン屋が減った / 海辺のカフェが欲しい
⑧公共交通
公共交通が少ない / 買物難民
⑨意識（危機感・一体感の欠如）
エコサステナブルな観点 / 活動やイベントに一体感がない できない理由ばかり言う / 危機感がないのでは

対応策（ハード/ソフト）
ハード —
ソフト 災害に強い町のPR・対策
ハード 水に浸からない仕組み / Wi-Fiスペース / DIYものづくりスペース
ソフト —
ハード —
ソフト MOBIの範囲拡大 / ライドシェア増加 / 自動運転の早期活用
ハード —
ソフト 協力する空気

対応できそうなこと（ハード/ソフト）
ハード ◎：全天候型屋内施設
ソフト —
ハード ◎：コミュニティスペース / 飲み物（自販機・カフェ） チャレンジ店舗 / 坂長・まるふくカフェ / 網野まるごと案内所 △：アリーナ付体育館
ソフト —
ハード —
ソフト △：網野駅との連携
ハード —
ソフト △：リーダーの人材育成

どんな場所を目指したいか

全部で73件の意見が集まりました。

事務局で整理・分類したものを振り返っていきます。

どのように分類整理をしているか

STEP1 大別

第1回協議会の意見を3つに大別しました。
本日は①の意見を参考に検討していきます。

- ①キーコンセプトに直結するもの
- ②当然の前提として意識するもの
- ③施設機能,諸室,提供サービス等に繋がるもの

STEP2 ①の中分類

①の意見をどんな場所を目指すのか、大切にしたい価値観として、事務局で参考に分類しております。

- ①：ふらっと行ける
- ②：人とつながる
- ③：自分らしく過ごせる
- ④：何かを始められる
- ⑤：知る・学ぶ
- ⑥：特定テーマ

第1回協議会の共通した方向感（共有）

網野住民の日常の居場所

この認識は同じでしょうか？

②当然の前提として意識するもの



安心安全・インクルーシブ・包摂



継続できるもの



賑わう場所

第2回で出た方向感も踏まえ、より具体化を、今後皆さんと考えていきたいと思っています。

RECAP / 前回の振り返り④ どんな場所になればよいか

大別③ = 具体的な機能・手法に関する意見のみ・全22件

①居心地・気軽・無目的（6件）

- ・ 自習室 / Wi-Fiが自由に使える場所
- ・ 青空トレーニング / 体幹トレーニングができる施設
- ・ 子育て支援所
- ・ 集まっておしゃべりしたい人

②挑戦・活動・ビジネス（8件）

- ・ 企画とのコラボ
- ・ バイトできる場所
- ・ 地味だが世界大会のあるスポーツをする施設
- ・ 屋内スポーツによる集客
- ・ コスプレ等の色々なイベントをつくる
- ・ 自分の能力を試したい人のためのショップ・カフェ
- ・ 商品開発→ネット販売、企業誘致
- ・ 網野食堂（食を中心に）

③網野活性化・課題解決（8件）

- ・ 廃材が活用できる
- ・ 絶対に溺れない海・川
- ・ 健康・医療・長寿
- ・ 伝統、文化祭
- ・ 有料のレンタル自転車・キックボード置場
- ・ まるごと案内所
- ・ 海鮮
- ・ スケボー、バスケ

どのように分類整理をしているか

STEP1 大別

第1回協議会の意見を3つに大別しました。
本日は①の意見を参考に検討していきます。

- ①キーコンセプトに直結するもの
- ②当然の前提として意識するもの
- ③施設機能,諸室,提供サービス等に繋がるもの

STEP2 ①の中分類

①の意見をどんな場所を目指すのか、大切にしたい価値観として、事務局で参考に分類しております。

- ①：ふらっと行ける
- ②：人とつながる
- ③：自分らしく過ごせる
- ④：何かを始められる
- ⑤：知る・学ぶ
- ⑥：特定テーマ

RECAP / 前回の振り返り④ どんな場所になればよいか

大別①＝キーコンセプトに繋がるもの

①ふらっと行ける（１３件）

- ・ 気軽に立ち寄れる
- ・ 暇な時に立ち寄れる
- ・ ぶらっとあみの
- ・ 気軽に
- ・ ふらっとひとりでもみんなでも
- ・ 目的がなくても行ける
- ・ ゆっくり、のんびり
- ・ お金をかけず楽しめる
- ・ 人が集まる
- ・ 居場所ができる
- ・ 見守り
- ・ みんなのほしい場所に
- ・ 誰もが過ごしやすい場所を

RECAP / 前回の振り返り④ どんな場所になればよいか

大別①＝キーコンセプトに繋がるもの

②人とつながる（1 1 件）

- ・ 集う、寄り添う、楽しめる
- ・ みんながつながれる
- ・ 交流
- ・ 誰か居るから
- ・ 出会い
- ・ 和い和い、我家我家（ガヤガヤ）
- ・ 多世代交流施設
- ・ 地元の人や移住者が混ざれる場所
- ・ 町民の集う場所
- ・ 誰もが集える場所
- ・ 人が集う場所

RECAP / 前回の振り返り④ どんな場所になればよいか

大別①＝キーコンセプトに繋がるもの

③自分らしく過ごせる（9件）

- ・ 好きなことができる
- ・ いい意味の不適切スペース
- ・ 奔放に
- ・ 親も楽しめる
- ・ 年齢関係なく集まれる
- ・ 一日中過ごせる場
- ・ 飽きない場所（商い場所）
- ・ 何回も来たくなる
- ・ 一日では回りつくせない、遊びつくせない

RECAP / 前回の振り返り④ どんな場所になればよいか

大別①＝キーコンセプトに繋がるもの

④何かを始められる（5件）

- ・ 運動→休憩→食事→のんびり
- ・ 自分のしたいを支援される場
- ・ 試す・チャレンジ（カフェ、ラーメン等）
- ・ 刺激を受ける場所
- ・ おもしろいこと、企画、発信

⑤知る・学ぶ（5件）

- ・ 子どもと一緒に遊べる・学べる場所
- ・ 食・遊・休・学
- ・ 暮らし・学び・居住
- ・ 資質向上や学びの機会
- ・ あみの大好き自慢の場所

⑥特定テーマ（3件）

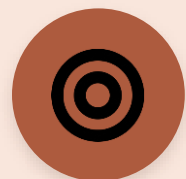
- ・ あみの丸ごと（人・魚・食）
- ・ 美しく・明るく・豊かな網野の未来
- ・ 待ち合わせ場所、新しいシンボル



ここまでが振り返りです

ここから、本日の内容に入っていきます。

キーコンセプトの方向性を固め、利用シーンを描く



前回の議論を踏まえ、跡地整備の軸となる「キーコンセプト」の方向性を固め（最終決定は次回）、跡地での「利用シーン」を描くこと

本日すること



① キーコンセプトの検討

約30分

各グループでキーコンセプトを考えましょう！言葉にしたための想いなど、最後に発表します！

<30分の内訳>

グループワーク
25分

全体意見交換
5分



② 利用シーンの検討

約25分

各グループのコンセプトを踏まえながら、利用シーンを描きます！

<25分の内訳>

個人ワーク
5分

グループワーク
15分

発表
5分

暫定の方向性を固める

第1回の4グループの意見を、**事務局が事前に分類**しました。
他グループのことばも踏まえて、跡地をどんな場所を目指すのか、キーコンセプトを考えましょう！

25分

① キーコンセプト

グループでコンセプトを考えます。
言葉の組み合わせだけでなく、言い換えや言葉の付け足す等しても良いです。そのコンセプトを作った理由、想いが大切になるので、そこまでを考えていきましょう。

5分

② 発表

各グループのコンセプトを発表。

本日は「暫定の方向性」を固める回です。
挙がった候補から、事務局がキーコンセプトを複数案作成し、次回第3回で決定する予定です。
後ほど暫定のコンセプトについて、アドバイザーからのコメントもいただきます

ワークシートのイメージ：キーコンセプトの方向性

【検討ボックス】 キーコンセプト（跡地がどんな場所になることを目指しますか？）

コンセ
プト

想い

【グループで決めた方向感】 キーコンセプト（案）

利用する人を思い浮かべ、利用シーンをたくさん描く

跡地でどのようなことができるのか、利用する人を思い浮かべて、利用シーンを考えましょう。
本日のキーコンセプトの方向性を踏まえながら、各グループで思い浮かべてください。

5分

① 個人ワーク

跡地を利用する「ある一人」を
思い浮かべ、その人が過ごす場
面をふせんに書き出す

かけたものからシートに貼付け

15分

② グループワーク

出てきた利用する人・場面を共
有し、話し合う。

5分（各1分）

③ 発表

グループで印象に残った場面を
発表（複数も可です！）

4つの問いを、それぞれふせんに書きます

1つのふせんに利用シーン「①どんな気持ちで ②誰が ③いつ ④何をして」を書きます。

誰かと少し話して一息つきたい

『子育て中のお母さん（人物モデル）』が

平日の午前中に

子どもを遊ばせる

正解はありません。いろんな「誰が・いつ」で数多く描いてみましょう。

「利用シーン」を考えるときの視点

「何をするか」だけでなく、「どんな体験を跡地で実現したいか」まで想像しましょう。

例えば、「本を読む」の場合、

図書館で本を読む

静かな環境で、集中して読書ができる。

跡地の屋外・芝生・カフェのある場所で本を読む

子どもの遊ぶ声、地域の人との交流と組み合わせあった、跡地活用ならではの体験シーン。

検討の視点

- ・跡地だけで完結する必要はありません。
周辺の施設（図書館・体育館・アミティ等）やサービスと連携することで実現できることもあります。
- ・網野の未来のために実現したい風景やこの跡地だからこそできる体験を考えましょう。

「周辺施設でできるなら不要」と単純には結論づけません。

「この跡地だからこそ価値が高まるもの」を、皆さんで考えていきましょう。

WORKSHEET ②

ワークシートのイメージ：利用シーンの検討

各グループのキーコンセプト（案）

キーコンセプト（案）に込めた思い

利用シーン（コンセプトから連想される具体的な光景）の検討

ヒント：平日・休日、朝・昼・夜など時間帯を変えてみると、いろんな場面が浮かびやすくなります
自分なら跡地で何ができるか、何をしたいか、浮かんだ利用シーンを、ふせんに書き出しましょう

Six colored sticky notes arranged in two rows of three, intended for writing use cases. The colors are yellow, orange, green in the top row, and blue, yellow, orange in the bottom row.

残り3回で、設計方針まで仕上げます



委員のみなさまへ

今日固まった方向性と、たくさん出していただいた利用シーンが、次回の決定の土台になります。
次回もどうぞよろしくお願いいたします。

アンケートについて

- 伝えそびれたこと
- 協議会の進行に関すること（次回以降のブラッシュアップのため）
- 跡地整備に参考となりうる他の事例

などございましたら、QRフォームから、9月17日までにご意見をお寄せください。

ありがとうございました。

